

梅雨の季節となりました。

先日はお忙しい中、土曜参観にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちの頑張りをご覧いただく良い機会になったことと思います。参観後の「緊急時児童引き取り訓練」のご協力もありがとうございました。

学校では、引き続き安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

6月末より個人懇談も予定しております。今後とも、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



世界一貧しい大統領として知られた、南米ウルグアイのホセ・ムヒカさんが、先月89歳で亡くなりました。

2012年、国連環境サミットでの演説は世界の人々に大きな感動を与えました。大統領になっても、友人から贈られた1987年製の水色のビートルを自ら運転し、給料の9割を貧困層に寄付。子どもの頃に近所の日本人から育て方を教わったという菊の花を栽培して売るとい生活。

また、大統領官邸には住まず、質素な自宅で暮らしていたことでも知られています。

2016年来日した際には、大学生に向けて次のように語りました。

「君が日本を変えることができなくても、自分のことを変えることはできる。」

「人生で最も大事なことは歩き続けること。転ぶたびに起き上がり、それからまた新たなことを始める勇気を持つこと。」

本当の豊かさとは何か、幸せとは何か、生き方を深く考えさせられる言葉です。

かんがえて
みよう！

★ 「よりよい生活とは

より多くの物を持つことではなく、

より幸せになることです。」

★ 「貧乏とは、少ししか物を持っていない人ではなく、多くの物が

必要で、無限の欲がある（たくさんほしがる）人のことです。」

（ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領の言葉より）



9年前、クラスで
この絵本を読んで、みんなで考えました。
ムヒカさんは、「私は貧乏ではない、
質素な（ぜいたくをしない）だけです。」
と言っています。



今ある、自分の持ち物を大切に
使っていきたいですね。

「世界でいちばん貧しい
大統領のスピーチ」 汐文社

編：くさばよしみ

絵：中川学



参照：「ホセ・ムヒカの生き方と言葉」

発行所：株式会社メディアソフト